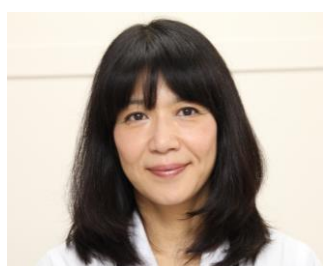
 奈良県立医科大学眼科ニュースレター Vol. 11

ご挨拶

教授 緒方奈保子



皆様いかがお過ごしでしょうか？

東京都舛添知事の辞任のニュースが流れています。政治資金の流用、公用車の使用をはじめとする公私混同問題の責任を取っての辞任です。しかし2年少しの任期に対して退職金が2200万円ほど支払われるとありました。政治家がとても優遇されていると思うのは私だけでしょうか？舛添元東京都知事が厚生労働大臣を務められていた時期もありましたので、わたくしたち眼科医も舛添氏のお名前はよく耳にしました。厚生労働大臣舛添要一の医師免許証をもつ人も多いはずですが、いま医療経済が逼迫し、医師の収入がおびやかされつつあります。無駄な医療と必要な医療があるのではないのでしょうか？無駄な医療が医療経済を圧迫しているのでしょうか。必要な医療にもっと重点を置く必要があると思います。政治家の方々には赤字国家の税金の使い方をよく考えていただきたいですね。

診療において高齢の方と接する機会が多くありますが、元気な高齢者が増えていると実感します。100歳以上の方が全国で6万人を超えたそうです。網膜色素変性症の患者さんが3万人ですから100歳という年齢の方が珍しくなくなりました。健康寿命も延びていますがそれ以上に平均寿命が延びていて、平均寿命と健康寿命の差が長くなっているようです。いま平均寿命と健康寿命の差は10年以上あります。健康に過ごしてもらって難しいですね。

「みる」ことはQuality of Life(QOL)に直結します。ますます眼科診療の重要性が高まっていると言えます。しかし、白内障手術の保険点数は下げられてしまいました。もっと眼科医の社会への貢献を評価してほしいものです。

講演会

第8回 RETINA フォーラム in 奈良

平成28年4月15日に巖櫃会館にて第8回RETINAフォーラム in 奈良が開催されました。今回は特別講演として愛知医科大学眼科学講座教授の瓶井資弘先生にお越し頂き、「RVOの虚血領域と治療の考え方」というタイトルでご講演頂きました。講演では、網膜無灌流域の病態や評価方法、抗VEGF薬の網膜無灌流域に対する影響、また瓶井先生が研究中の網膜灌流を改善する薬の効果など、とても興味深い内容であったという間の1時間でした。



第11回 奈良県眼科万葉フォーラム

平成28年5月28日に橿原ロイヤルホテルにて第11回奈良県眼科万葉フォーラムが開催されました。いつも同窓会の先生方に多数ご参加頂き誠に有難うございます。今回は特別講演として東京大学眼科学教授の相原一先生にお越し頂き、「緑内障薬物治療の強化と手術のタイミング」とのタイトルでご講演頂きました。ご講演では、実際の症例を多数お示し頂き、ハンフリー視野検査での悪化のチェック方法、点眼治療の強化や手術を考えるタイミングなどを詳細にご説明頂きました。まさに明日からの診療に役立つ貴重なご講演を賜りました。



第1回 NORS (Nara Ophthalmic Resident Study group) の会

平成28年6月18日大阪マリオットホテルにて第1回NORSの会が開催されました。NORSの会は、医学生や研修医の先生方に、この会を通して眼科に興味を持って頂き、数年後の眼科入局に繋がることを目的として初めて開催されました。今回は9名の医学生と4名の研修医の先生方が参加してくれました。また三重大学眼科学教授の近藤峰生先生に特別講演をして頂きました。ご講演では、眼科診療や研究の面白さ、留学の素晴らしさなどについて、ジョークを交えながら熱くお話し頂きました。我々眼科医も眼科の素晴らしさを再認識することができ、大変有意義な会となりました。



人事

今年もめでたく2名の先生が新入医局員として眼科に入局しましたので、自己紹介をして頂きます。

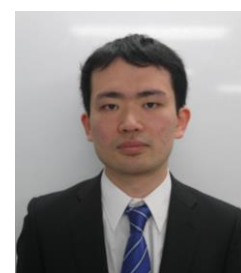
また4月から奈良県総合医療センターより中尾先生が大学に戻って来られましたので、一言頂きました。

新入医局員紹介

1. 名前：竹内 崇（たけうち たかし）
2. 出身地・出身高校・出身大学：大阪府泉大津市・清風南海高校・奈良県立医科大学
3. 血液型・星座：B型・てんびん座
4. 趣味：ドライブ、旅行、野球観戦、ボウリング
5. 眼科入局の動機：五感が障害されることを考えたとき、視覚が最も大切かと個人的に考えています。視覚障害で悩んでいる人の手助けになればと思っています。
6. 眼科入局の感想：入局したばかりで、まだ自力でできないことが多いですが、先生方の優しいご指導のおかげで日々充実した生活を送っています。あと、先生方をはじめスタッフは皆優しく、とにかく医局の雰囲気が良いです！
7. ひとこと：平成28年に奈良医大眼科に入局しました竹内崇です。現在は入局して間もなく、不慣れながらも日々の診察や業務に奮闘している毎日です。まだまだ未熟でありご迷惑をおかけする点多々あると思いますが、よろしくお願いたします。



1. 名前：平井 宏昌（ひらい ひろまさ）
2. 出身地・出身高校・出身大学：奈良県天理市・東大寺学園高校・奈良県立医科大学
3. 血液型・星座：A型・さそり座
4. 趣味：国内旅行（この前は北海道新幹線に乗りに行きました）
5. 眼科入局の動機：眼という人にとって不可欠な感覚器に特化した科に憧れ入局しました。
6. 眼科入局の感想：先輩の先生方の温かいご指導のもと日々の業務に取り組んでいます。
7. ひとこと：どうぞよろしくお願いいたします！



人事異動

中尾 重哉 先生（平成 26 年入局）

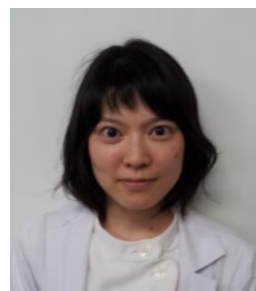
奈良県総合医療センターにおける 1 年間の勤務を終えて大学病院に帰って参りました。入局 1 年目の右も左も分からなかった時と違い、色々な視点から大学ならではの疾患に興味を持つ事ができ、大変ではありますが、楽しく仕事をさせて頂いております。また、まだまだ自身も未熟な身ではありますが、後輩も増えた事で指導に関わる機会も頂き、教える事の難しさも痛感しております。諸先輩方に見習い、不器用ながらもコツコツとこれからも邁進していきますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



専門医試験のご報告

山下 真理子 先生（平成 24 年入局）

月日が経つのは早いもので、眼科医になって早 4 年が過ぎ、来たる 6 月 10 日、11 日に眼科専門医試験を渋谷のフォーラム 8 で受けてきました。今年を受験生は約 250 人。年配の方もちらほらいらっしゃいました。医師国家試験を受けてから久しぶりの試験でかなり緊張しましたが、無事に合格することができました。医局の先生方のおかげです。恐れ多くも緒方教授を始め、ほぼ全員の先生方に家庭教師のようにいろいろ教えて頂きました。史上最高に手のかかる受験生であったに違いありません。ORT さんにも大変お世話になりました。ありがとうございました。



閑話休題、5 月のおわりに九州で開催された病理スライドセミナーという専門医試験対策を兼ねたセミナーに参加しました。このセミナーは専門医試験を受ける先生にはお勧めです。毎年全国持ち回りで開催されるみたいです。来年は大阪です。ホットな情報が得られます。

まだまだ半人前ですが、これからも精進して頑張っていきたいと思います。どうかあたたかく見守って下さい。よろしくお願い申し上げます。

IOL studyについて

宮田 季美恵 (平成 22 年入局)

いつも白内障手術患者様をご紹介いただき誠にありがとうございます。現在、奈良医大眼科学教室では大規模無作為比較試験 (randomized controlled trial : RCT) を進めています。「高齢者の白内障手術と使用した眼内レンズ特性が、その後の加齢黄斑変性症やサーカディアンリズム関連疾患におよぼす影響：通称白内障スタディ」です。

サーカディアンリズム (概日リズム) は、外部からの光情報を光感受性網膜神経節細胞が受容し、生体内リズムと外部環境を同調させることで調整しています。この光感受性網膜神経節細胞は特に単波長光 (ブルーライト) に感受性を持ちます。白内障で水晶体混濁がおこると視力が低下するだけでなく、光透過率 (特にブルーライト) が低下することで、概日リズム障害は睡眠障害、うつ、認知機能低下、糖尿病、高血圧、癌、脳血管障害、心血管障害等のリスクが高くなる可能性があるといわれています。白内障手術で水晶体混濁が除去されると網膜への光透過量が増加し、概日リズム障害が改善する可能性があります。縦断研究での報告はありますが、よりエビデンスレベルの高い大規模 RCT の報告はなく、解明しようと取り組んでいます。また、非着色眼内レンズと着色眼内レンズで概日リズム障害と関連があるかも同時に調べています。

白内障スタディは、白内障手術を希望される患者様にご協力をいただいています。検査は術前検査、術前 1 週間前、術後 3 か月、術後 1 年、その後 1 年毎に施行しています。ご紹介いただきました患者様で白内障スタディにご協力いただいております患者様につきましては、逆紹介させていただきました後も、術後 3 か月、術後 1 年、その後 1 年毎の医大受診にご協力いただきたく何卒よろしくお願い申し上げます。今後とも白内障手術希望の患者様をご紹介いただきたく何卒よろしくお願い申し上げます。

*白内障スタディプロトコル論文

1) Nishi T, Saeki K, Obayashi K, Miyata K et al.

The effect of blue-blocking intraocular lenses on circadian biological rhythm: protocol for a randomised controlled trial (CLOCK-IOL colour study). *BMJ Open*. 2015 12;5:e007930. doi: 10.1136

2) Saeki K, Obayashi K, Nishi T, Miyata K et al.

Short-term influence of cataract surgery on circadian biological rhythm and related health outcomes (CLOCK-IOL trial): study protocol for a randomized controlled trial. *Trials*. 2014 29;15:514. doi: 10.1186

学術

西 智 (平成 14 年入局)

小児の遠視性不同視弱視眼における網膜厚の検討

西 智、上田哲生、長谷川泰司、宮田季美恵、緒方奈保子

Retinal thickness in children with hyperopic anisometric amblyopia.

Br J Ophthalmol. 99:1060-1064 2015

我々は小児の遠視性不同視弱視症例の網膜厚と網膜外層の分層厚の比較検討を行った。対象は、奈良県立医科大学付属病院を受診した遠視性不同視弱視症例 21 例 42 眼、年齢をマッチさせた健常群 25 例 25 眼であった。視神経外節厚は、弱視眼では $42.4 \pm 4.6 \mu\text{m}$ 、僚眼で $48.0 \pm 6.6 \mu\text{m}$ 、健常群では $46.5 \pm 3.0 \mu\text{m}$ で、弱視眼で有意に短かった。眼鏡治療後には、弱視眼の視神経外節厚は $49.0 \pm 3.9 \mu\text{m}$ と有意に延長していた。弱視眼では眼鏡治療による視力回復に伴い、視神経外節厚が延長していた。

岡本 全弘 (平成 14 年入局)

非増殖性糖尿病網膜症に対する汎網膜光凝固の脈絡膜厚および脈絡膜血流への影響

岡本全弘、松浦豊明、緒方奈保子

EFFECTS OF PANRETINAL PHOTOCOAGULATION ON CHOROIDAL THICKNESS AND CHOROIDAL BLOOD FLOW IN PATIENTS WITH SEVERE NONPROLIFERATIVE DIABETIC RETINOPATHY

Retina. 36:805-811 2016

奈良医大眼科に通院中の汎網膜光凝固術 (PRP) が必要と判断された糖尿病網膜症患者 24 名 24 眼を対象とし、糖尿病網膜症に対する PRP による中心窩領域の脈絡膜厚と脈絡膜血流への影響を検討した。PRP 後には、脈絡膜厚と脈絡膜血流の減少を認めた。

宮田 季美恵 (平成 22 年入局)

白内障術後の高齢者は認知機能が高い：平城京コホートスタディにおける横断解析

宮田季美恵、大林賢史、佐伯圭吾、刀根庸浩、田中邦彦、西 智、森川将行、車谷典男、緒方奈保子

Higher Cognitive Function in Elderly Individuals with Previous Cataract Surgery: Cross-Sectional Association Independent of Visual Acuity in the HEIJO-KYO Cohort.

Rejuvenation Res. 19:239-43 2016

我々は白内障手術と認知機能が視力と独立して関連するかどうかを平城京コホートスタディに参加した 60 歳以上の高齢者 945 人を対象に横断解析にて検討した。交絡因子 (年齢、性別、Body Mass Index、教育歴、収入、高血圧、糖尿病、睡眠障害、鬱、日中身体活動量) および矯正視力で調整した多項ロジスティック回帰分析で、白内障術後群は白内障手術歴がない群に対して認知機能低下のオッズ比が有意に低い結果だった (オッズ比 0.64、 $p=0.031$)。

病院紹介

南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター

医長 治村寛信（平成26年入局）

病院の状況

南奈良総合医療センターは、奈良県南和地域の公立病院統合・再編事業により、南和広域医療企業団の三病院のうち急性期および回復期医療を担う病院として、大淀町福神に開院いたしました。病床数は232床（一般188床、HCU 8床、回復期リハビリ 36床）で、25診療科と、チーム医療として救急・消化器・糖尿病・リウマチ運動器疾患・腎尿路疾患・在宅医療支援・へき地医療支援・健診の8センター機能を有しており、地域密着型の最適な医療の提供を目指しております。特に24時間365日救急搬送の受け入れを行っており、ドクターヘリやドクターカーを運用するなど救急医療に強化した病院です。また、がんや糖尿病、運動器疾患



など専門性が求められる領域の診断と治療、集中的なリハビリテーションも行っております。南奈良総合医療センターと同時にオープンした吉野病院（96床：地域包括ケア50床、療養病床46床）、そして平成29年4月にリニューアルオープンする五條病院（療養病床90床）をあわせて、南和広域医療企業団の三病院（418床）で、急性期から回復期、慢性期までのシームレスな医療提供体制を構築するほか、地域の医療機関などと連携して在宅医療やへき地医療を支援し、健康啓発活動など多様な事業を展開して、地域包括ケアを目指しております。

眼科の体制

常勤医は私1名ですが、大学医局より助教以上の先生が毎日の外来を、また講師以上の先生が月、水の手術日をサポートして下さることにより、外来も手術も安心して行わせていただいております。毎日応援医を派遣いただき、厚く感謝しています。また出張に来ていただける先生との会話により最新の話題なども教えていただき、大変勉強になっております。外来スタッフは、ORT 2名、看護師1名です。開院からまだ3か月しかたっておりませんが、スタッフ同士で協力して、円滑に診療ができるように日々頑張っております。今後とも、ご指導、ご支援いただきますようお願い致します。



奈良県立医大 眼科外来診察表

		月	火	水	木	金
1 診	午前	丸岡	上田	手術日	緒方	手術日
	午後	角膜外来	網膜硝子体外来	専門外来	網膜硝子体外来	専門外来
2 診	午前	辻中	岡本	手術日	小島	手術日
	午後	角膜・黄斑外来	緑内障外来	専門外来	眼循環外来	専門外来
3 診	午前	益田	西	手術日	吉川	手術日
	午後	黄斑外来	小児・神経眼科 外来	専門外来	緑内障外来	専門外来
4 診	午前	西川	宮田	手術日	峯(第 1,3,5) 大萩(第 2,4)	手術日
	午後		黄斑外来	専門外来		専門外来
5 診	午前		中尾	手術日	小林(第 1,3,5) 増田(第 2,4)	手術日
	午後			専門外来		専門外来

- ・ 専門外来は完全予約制です。
- ・ 初診の場合はまず、月・火・木の外来を受診するようお願い致します。
- ・ 地域連携の予約は月・火・木が5名、水・金は3名可能となっております。

編集後記

平素は奈良県立医科大学眼科学教室の運営にお力添え頂き、誠に有難うございます。ニュースレターは、今回で11回目の発行となりました。ニュースレターでは引き続き、同窓会の諸先生方からのご投稿をお待ちしております。先生が日頃感じておられることや、大学への要望など、どのような内容でも結構です。何なりとご投稿頂ければ幸いです。ご投稿、ご質問などは下記メールアドレスまでよろしくお願い致します。

smaruoka@naramed-u.ac.jp 奈良県立医科大学 眼科 丸岡真治(平成10年入局)